

令和7年度和歌山工業高等専門学校体験実習入試における生物応用化学科にかかる採点上の取扱いについて

令和7年1月23日
和歌山工業高等専門学校

令和7年1月18日(土)に実施しました、令和7年度和歌山工業高等専門学校体験実習入試における生物応用化学科にかかる採点について、下記のとおり
の取り扱いをいたしましたのでお知らせします。

なお、この取り扱いによる合否判定への影響はありません。

記

ー実験の概要ー

デンプン水溶液にアミラーゼ(デンプン分解酵素)水溶液を加え、2分ごとにヨウ素溶液で反応を停止させ、溶液の色の変化によってデンプンの分解状況を確認することで、デンプンがすべて分解するまでの時間を求める。

(体験実習 問2)

・今回の実験で、デンプン水溶液 5.0 ml 中のデンプンが 0.030%アミラーゼ水溶液 1.2g によって完全に分解した時間について、最も近いものを選択肢エ〜クから選び、解答欄に記号で書きなさい。

【選択肢】 エ：1.0分 オ：3.0分 カ：5.0分 キ：7.0分 ク：9.0分

事前の模擬実験で得られていた解答は「キ：7.0分」であるが、試験当日、デンプン分解反応について、想定以上に酵素反応が進まなかったため、受験者全員に正答を開示した。

以上